



市電に乗ってどこまでも

写真館



チェックポイントに到着。ゴールを指してスタンプを集めました



電車事業所では、工場見学という、うれしい特典がありました。普段は見られない場所だけに子どもたちも興味津々



子どもらしい大胆な色使いで伸び伸びと描かれた作品の数々

11月2日、3日の2日間、「市電スタンプラリー」が行われました。これは、子どもたちが区のシンボルである市電について学び、親しむ機会として、初めて開催されたものです。電車事業所など、市電に乗って行ける区内5カ所のチェックポイントを回った子どもたち。ゴールすると、賞品として紙製の市電模型がプレゼントされました。

また、2日から9日までの8日間、区内の小学生、幼稚園児から募集した市電の絵を展示する「ギャラリー電車」も運行され、夢のあふれる作品が乗客の目を楽しませました。

大にぎわい!子ども会まつり



11月2日、「中央区子ども会まつり」が行われ、子どもたちや家族など、約1,000人が集いました。中央区子ども会育成連合会（細川照市会長）主催の恒例行事で、区内に46ある子ども会の日ごろの活動成果を発表し、交流を深める目的で開催されています。この日は、子どもたちが、劇やミュージカルなど、これまで練習を積み重ねてきた出し物を披露し、詰め掛けた父母らの大きな拍手を集めていました。

力を合わせて、元気にもちつき



11月13日、曙地区で地域のお年寄りと園児約50人が、もちつきを楽しみました。これは、一人暮らしのお年寄りが、さまざまな行事を通して交流を深める「曙地区すこやか倶楽部」の一環として開かれたものです。この日、もちつきを担当したのは園児たち。小さなきねを担いで大奮闘しました。もちが完成すると、お年寄りたちと一緒に、あんこやきな粉をつけて出来たての味を堪能しました。